



卒園まで必ず保管して内容をご確認くださいね

社会福祉法人 竹伸会
幼保連携型認定こども園
杉の木台こども園



児童憲章

児童は、人として尊ばれる。

児童は、社会の一員として重んぜられる。

児童は、良い環境の中で育てられる。

認定こども園とは

就学前の教育・保育を一体として捉え、一貫して提供する施設です。杉の木台こども園は、平成28年度から国の新制度のもと、幼保連携型認定こども園として、質の高い教育と保育を行います。保育の必要量に応じて、1号、2号、3号と認定が区分されます。



こども園は児童福祉法によって保育を必要とするすべての乳幼児を集団の中で擁護と教育をするところです。

こども園は子どもの生活の場です。一人ひとりの子どもが自由を保障されつつ、自然環境、整えられた物的環境と優しい人的環境の中で精神体を形成し、小さな生活者として自立していかれるよう手助けします。

こども園だけでお子様の健全な育成を願ってもそれは成り立つものではありません。家庭とこども園との子育てが調和してはじめて良い効果をあげるもので、まずご両親がお子様をしっかりと受けとめて子ども自身を知り理解することが大切です。そしてまわりの大人は育っていく子どもにどこまで生活実権を任せ得るか…。学習して成長するのは子ども自身であるという保育の鉄則を大人自身が忘れてはならないでしょう。

子どもにとって信頼される大人がいるということは幸福なことです。園と保護者が一体となって努力しましょう。

教育・保育目標

身心共にたくましく感謝の心を育てる
～ありがとうございます～

- *元気な子ども
- *仲よく遊べる子ども
- *よく考えること
- *美しいものを感じとれる子ども
- *進んでやってみようとする子ども

杉の木台こども園の教育・保育の理念

こども園は乳幼児（0歳から6歳）が生涯にわたる人間形成の基礎を培う極めて重要な時期です。その生活時間の大半を過ごすこども園においては、入園する子どもの人権や主体性を尊重し、子どもの最善の幸福のため保護者や地域社会と力を合わせ兒童の福祉を増進します。

*保育教諭は、常に豊かな愛情と忍耐・謙虚さをもって教育保育します。
*子ども自身の幸福とは、身心ともに健全な発達、人間性の豊かな人格的な発達が実現していくことです。



杉の木台こども園の教育・保育の基本方針

- ★生涯にわたる人格形成の基礎を培い、幼児期の特性を踏まえ、環境を通して子どもの身心の発達を援助する教育・保育。
- ★一人ひとりの子どもをしっかり受容し、情緒の安定と信頼感を育む教育・保育。
- ★一人ひとりの発達の課題を把握し、一人ひとりの個性を大切にする教育・保育。
- *家庭や地域社会との連携を図り、保護者とともに子育てをします。
- *自己を十分に發揮できるように、健康で安全・安心・安定した生活ができる環境（物的・人的・自然）を用意し、健全な身心の発達を図ります。
- *養護と教育が一体となって、豊かな人間性をもった子どもを育成します。
- *地域における子育ての支援のために、乳幼児などの保育に関する相談に応じ、地域の子育てを支援します。
- *ハンディを持っている子どもたちや、異年齢（0才～高齢者）の人たちとかかわりを持ち、生きる喜びを分かち合い生きるための知恵を学びます。

保育・教育内容

乳児保育

0歳（産休・産休明け）～2歳までの乳児の養護を中心とした生活を保障し、子どもが健康で安定した情緒が育つ優しい保育環境を整えています。授乳、離乳食、沐浴、一人ひとりの生活リズムを大切にし、保育教諭とのかかわりの中で、ゆったりと楽しい生活を営んでいます。

統合保育

安全で、明るく、楽しい環境の中で、可能な限りハンドルをもっているお子さんを受け入れ、共に育ち合う、統合保育を行っています。子どもは、動くことにより、色々な能力を身につけ、それが引き金で成長発達します。個々の発達（育ち）を見極めながら、ムーブメント教育による、個別、集団プログラムにて援助します。

異年齢保育

自発的な活動として、ムーブメント教育やモンテッソーリ教育による日常生活、感覚、数、言語の教材や教具をコーナーあそびで取り入れ、異年齢保育を行っています。3歳児から5歳児の異年齢での生活を通して共に育ち合う、意欲と思いやりある人格形成の向上を願うものです。また、自分のやりたいあそびを、自分で選択できるように環境設定し、子どもの心を大切にしながら、自立の道を進めるよう援助しています。

食育

「食」は「人」を育てること

◎「食べる」に意欲がもて ◎「食べる」に興味・関心を持つ ◎「食べる」で人の輪をもてる子に乳幼児から食べる力と食べる意欲を育むために、給食時や料理活動を通して「食」に対する興味・関心を深めます。

竹伸会食育研究グループが献立を作成し、自園給食を提供します。食べる事は皆を笑顔にして人のつながりを深め生きる力を育みます。

モンテッソーリ教育

イタリアの女医 マリアモンテッソーリが確立した、子どもの人格を尊重し、子どもがそれぞれの歩み方で自立し、やがて自らの心も律することのできる人間になつていけるように援助する教育です。そのためには、子どもの自発的活動を尊重し整えられた環境のもとで子どもの無限の可能性を伸ばせるように試みなければなりません。その整えられた環境には、吸収する精神のある敏感期の子どもが異年齢の中で、「自分で自分の生活を築いていけるように」教材やモンテッソーリ教具がコーナー別に準備されています。生活の教具、感覚教具、言語教具、数教具の各コーナーには、子どもが自分で考え、自分で選び、自分で実現できるように本物ができるだけ用意し、集中して活動できるようにまた、くり返し行えるように考慮されているのがこの教育の大きな特徴です。当園の保育教諭は、これらの教育の理論と実技を京都モンテッソーリ教師養成コースにて学んでおります。

ムーブメント教育

ムーブメント教育は、机の上の教育だけでなく、からだを動かすことで「からだ（動くこと）、あたま（考えること）、こころ（感じること）」という発達の全体を包みこむ教育です。子ども達の得意なところ、輝いているところを見つけて、それらを膨らましていくために、ムーブメント教育を行っていきます。



子どもの生活

	乳児の時間（0・1・2歳児）	時間	幼児の時間（3・4・5歳児）
8:00	<p>登園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・健康観察 <p>自発あそび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・静的あそび 手先を使ったあそび ままごと、ブロック ・動的あそび トランポリン、サーキットなど 	8:00	<p>登園</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 ・健康観察 ・身の回りの始末 <p>自発的な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内での自発活動 (モンテッソーリ教育に関する活動) ・ホール(遊具でのムーブメント) ・園庭(固定遊具でのムーブメント)
9:30	<p>おやつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い 		<p>一斉的な活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢別での課題活動 音楽リズム、造形
10:00	<p>集団あそび</p> <ul style="list-style-type: none"> ・室内あそび リズム遊び、体操、手あそびなど ・戸外あそび 砂あそび、散歩、固定遊具など 	11:30	<p>安全指導、集まり</p> <p>昼食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い、当番活動、歯みがき
11:00	<p>集まり</p> <p>昼食</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い ・排泄、着替え 	12:30	<p>3歳児 … 昼寝</p> <p>4・5歳児 … 年齢別一斉的活動</p>
12:30	<p>昼寝</p>	15:00	<p>おやつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い
15:00	<p>おやつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手洗い 	15:30	<p>帰りの集まり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・集団あそび、子どもへの伝達
15:30	<p>帰りの集まり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・挨拶 	16:00	<p>降園</p> <p>※1号認定のお子様は 15:00 降園となります</p>
16:00	<p>降園</p>		

※早朝・延長保育・・・通勤、通勤時間の都合により 7 時から 19 時まで保育をしています。

※各年齢・季節等によって変わることがあります。

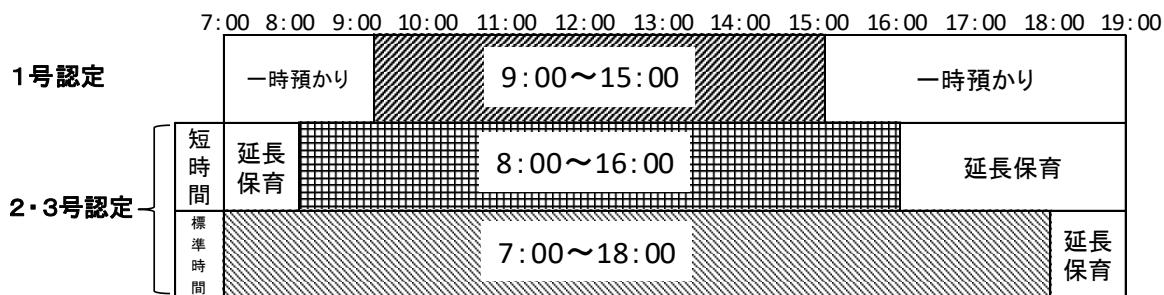
保育時間及び休日について

毎日8時から 16 時まで保育します。しかし、ご両親共外勤で勤務時間の都合で保育時間の延長が必要な場合は、7時から 19 時までの範囲で延長保育をします。尚、お子様に病気や障害がある場合、長時間にわたる保育が無理なこともありますので、お子様の状態に合わせて保育時間を短縮させていただくこともあります。園長と相談のうえ、園の方針にご協力下さい。

仕事でお休みの場合は保育に欠けるとは言えませんので 16 時に迎えに来ていただきますようお願いします。

保護者の方の勤務時間に通勤時間を足した時間が保育に欠けるに該当します。登園、降園の時間を守っていただきますようお願いします。

教育・保育時間



休日について

支給認定区分ごとに、次のとおり提供する日及び休業日が異なります。

認定区分	提供する日	休業日
1号認定	月曜日から金曜日	土曜日、日曜日、祝祭日 夏季休業（8月11日から8月20日まで） 冬季休業（12月26日から1月4日まで） 学年末休業（3月25日から3月31日まで） 学年始休業（4月1日から4月4日まで）
2号認定 3号認定	月曜日から土曜日	日曜日、祝祭日 年末年始（12月29日から1月3日）

※1号認定の子どもは長期休業中も一時預かりを行います。

※その他、特殊なことのある場合（伝染病や非常事態発生の時）は休園します。

保健について

保健管理の目標

小児の健康を維持し、疾病予防とともに異常の早期発見、早期療育を目的のため次の事業を実施しています。

成長・発達・健康状態について

- ① 医師による内科的健康診断【春期・秋期…年2回】
- ② 歯科医師による歯牙の検査【年1回】
- ③ 尿検査【検査項目＝たん白・糖・潜血…年1回】
- ④ 身体発育測定【毎月】

内科委託医 山村医院 院長 山村浩子先生
歯科委託医 梅田歯科医院 院長 梅田健吾先生

検診の当日はなるべく休まないようにして下さい。

身体で気掛かりなことは、前もって保育教諭にお知らせ下さい。

感染予防について

- ① 検便【年1回】
- ② 感染症発生状況により病気の罹患状況を把握し、必要に応じて指導、まん延を予防する。

病気、けがについて

- 乳幼児は抵抗力が弱いため、はしか、水痘、かぜ、おたふくかぜ、とびひなどの感染症にかかりやすいのでご了承下さい。
- 朝機嫌が悪かったり、調子が悪かったりする時は家庭で見ていただくな、担任に状態を連絡して下さい。少しでも具合の悪い時は登園を控えて下さい。
- 病気がすっかり治るまでは、家で十分養生して下さい。治らないうちに集団に入れると疲労が重なり長びく原因となります。
- 感染性の病気にかかった場合は、他の園児の健康を阻害することもありますので、医師の指示にしたがって下さい。
- 園で身体の具合が悪くなった時は、早く治っていただくためにお迎えに来ていただくこともあります。
- こども園では、細心の注意を致しておりますが、思わぬけがをすることがあります。その点、ご了承下さい。

福井市子育て支援課発行の「子どもがかかりやすい感染症のしおり」をご参考下さい。

緊急連絡先について

発熱やけがなどの場合、勤務先や携帯電話へ連絡させていただくことがあります。連絡先の変更がある場合は、必ずお知らせ下さい。

発熱は、個人差もありますが 37.5度をめやすとします。熱はなくても、いつもと様子が違うときなど、連絡させていただくこともあります。

非常災害について

- 園では、火事や地震を想定した避難訓練を毎月1回行っています。火事や地震などの災害が発生した場合、園で決められた場所へ避難します。災害の規模によっては第一避難所から第二避難所への移動もありますので、行き先を園でよく確認してできるだけ早く避難所へおいで下さい。

▲第一避難場所：園庭

▲第二避難場所：杉の木台公園

- このような災害や突発的事故が発生した場合、園と家庭の連絡をより早く、より確かにするため、園では緊急連絡表や引き渡しカードを作成しておりますので、連絡先の変更についてはできるだけ早く園へお知らせ下さい。

保護者会（杉の木会）について

園には保護者会がありますので、園児の保護者の方に加入していただきます。

尚、この会には決められた会費（月400円）を保育料と一緒に月々納めていただきます。

日本スポーツ振興センターについて

こども園の管理下で災害（負傷、疾病、傷害など）が発生したときに災害共済給付（医療費総額が5,000円以上、健康保険による病院窓口支払額1,500円以上でセンターに認められた場合支給）が行われる幼児のための国の公的共済制度です。全員の方に加入していただきます。

支給認定について

- 支給認定証は福井市より発行されます。卒園までご家庭で保管して下さい。
- 住所、勤務先、勤務時間の変更や出産・育児に入られた時には、支給認定証の変更の手続きが必要になりますので、こども園に連絡して下さい。

退園について

- 退園される場合は、退園届けに関する手続きがありますので、できるだけ早めにお知らせ下さい。
- 退園の際は支給認定証をお戻しいただきます。(福井市内の転園の場合を除く。)

保育料について

- 保育料集金は毎月27日に口座より引き落としとなります。(27日が土・日・祝日の場合は変更あり)
- 保育料は在籍している限り、お休みの有無にかかわらず、納めていただきます。但し、長期にわたる病気(1ヶ月以上)、その他災害などの理由によっては減免されることもあります。
- 退園される場合、期日によって保育料の算定がかわりますので、早めにお申し出下さい。尚、保育料に関することは、園長または行政にお問い合わせ下さい。
- 雑費、延長保育利用料等は毎月集金袋にて集めますので、おつりがないように入れて下さい。袋を渡さないで集金することはありません。
- 現金がある場合には必ず保育者にお知らせください。0・1・2歳児は連絡帳、バス通園の方はバスノートに記入してください。

通園について

- 2・3号認定の方は、毎朝おそらくとも9:00までに登園して下さい。
1号認定の方は9:00から9:10の間に登園して下さい。
欠席や遅刻の場合は9:00までにご連絡下さい。
- 登降園については、保護者が責任をもって送り迎えをお願いします。
- 通園路はなるべく一定に、毎日安全な道順で送り迎えして下さい。
- 交通の安全については特に留意して下さい。
交通安全指導については、毎日の登降園時が何よりも生きた実地指導のよい場ですから、年齢に応じて交通安全のよい習慣をつけるように努めて下さい。(園でも年齢に応じた交通指導を行っております。)
- 降園後の安全については、常に周囲の危険箇所を把握し、常に、どこで?だれと?どんなあそびを?しているか注意し、不慮の事故がないように心を配りましょう。

送り迎えについて

- 朝は、機嫌よく登園できるようにしましょう。
朝食は必ず食べさせてください。朝、おなかいっぱい食べて元気に登園することが、1日の活動を充実させるうえで何よりも大切です。
早寝(20:00)、早起き(6:00)は心身の発達を助けます。
- 保護者の方は、お子様を玄関まで送りとどけて下さい。いつもと様子が違うことや、いつもとお迎えの時間や人が変わった場合、連絡先が変わる場合などは、その旨を玄関にいる保育教諭にお伝え下さい。

交通事故防止

- 登降園時は大変混雑しますので十分ご注意下さい。車での送迎の方は、車上狙いに注意し、施錠してお子さんの手をつないで安全面に留意しながら登園して下さい。また停車時間を短くするため、送迎が終了したら早めの移動をお願いします。参観や懇談などで来園された場合は園の駐車場をご利用下さい。

土曜日の午後（12：00以降の長時間）の保育

- 土曜日午後の保育は月2回です。希望される方は、土曜午後保育の申請をしていただきます。
 - ・12：01を過ぎる方はお弁当と水筒を必ず持ってきて下さい。（11：00過ぎから食事をする予定です。）
 - ・土曜日の午後の保育を希望される方は全年齢（0歳児から5歳児）午睡をしますので、午睡用の布団の準備をお願いします。
 - ・出来るだけ土曜日は家庭保育のご協力をお願いします。

服装について

- 3・4・5歳児は、登降園に制服を着用します。（夏季は着用しません）
- こども園での安全面において、以下の服装は危険とみられる場合がありますのでご遠慮ください。
 - ☆フード付きの洋服・丈の長い洋服
(ジャンパー等こども園に登園してすぐに脱ぐものは大丈夫です)
 - ☆スカート・スカート付きズボン・ワンピース・ワイドパンツ・タイツ・ズボンの裾にひもが付いているもの
- 園庭で遊ぶことが多いため、砂等で洋服が汚れることがあります。
- 身体測定や着替えの際には服やシャツを脱ぐことがありますので、持ち物、着るもの全部に名前を書いて下さい。
- 玄関の靴で散歩や園庭に出ることもありますので、登園時の靴はサンダルやクロックスではなく汚れてもよいズックをお願いします。尚、ひも付きのものは危ないのでご遠慮下さい。
- 女の子の髪飾りは誤飲につながり危険ですので、飾り付きのものはご遠慮ください。ヘアピン、シュシュ、ビニールゴムも避けてください。ゴムのみの物で結んで下さい。

午睡について

長時間にわたって保育を受ける乳幼児の健康保持のため、午睡は特に必要で、年齢に応じて時間や期間などに配慮しながら行います。早寝早起きの習慣づけ、寝具等の清潔には、ご協力下さい。

0歳児から3歳児は年間を通して午睡を行います。

4・5歳児は夏期（7・8月）のみ仮眠。（4歳児は進級当初、様子を見て仮眠を行います。）

布団について

- 敷布団、掛布団、シーツカバーは、ご家庭でご用意して下さい。
- 夏季は掛け布団の代わりにバスタオルを使用します。
- 月2回布団を持ち帰ります。日光消毒、シーツの洗濯をして、月曜日に持って来て下さい。
- 持ち帰り日は園だよりにてお知らせいたします。持ち帰り日には玄関にクラスごとに並べておきます。
- 3歳児は、敷布団と掛布団を重ねた状態で2つ折りにし、なかよしルームの棚に保護者の方が片付けて下さい。
- 布団を忘れた方には園の布団をお貸しいたします。布団・シーツを洗濯して返却して下さい。

給食について

0・1・2歳児 完全給食とおやつ
3・4・5歳児 副食とおやつ

給食の目的

- 幼児の身心の成長発育と健康の保持増進を図る。
- 望ましい生活習慣の基礎をつくる。
- 栄養や衛生について関心を持たせ、食事の楽しさを味わう。
- 幼児の家庭をはじめ、いわては地域社会の食生活改善へと努める。



献立について

- 一食として幼児に適当な分量。
- 栄養価を満たす献立。
- 季節感を折り込む。
- 料理は一種類ではなく二菜以上とし、汁物をよく取り入れること。
- 幼児のし好にかたよらず、伝統食ともいえる魚類、煮豆、切り干し大根、ひじき和え物等も組み入れる。
- 野菜を食べられるような工夫。
- よくかんで食べることを目的として、特に繊維の多いもの、人参、ごぼうなどの根菜類を取り入れる。
- おやつは幼児にとって、食事の一部をなす重要なものです。取りすぎないようエネルギーの15%以内にとどめる。手作りおやつも取り入れる。

アレルギー除去食について

アレルギーを持っているお子様で除去食を希望される方は医師の診断書を提出して下さい。それに基づき保護者、栄養士、保育教諭が相談しながら進めています。

その他

主食について

- 0・1・2歳児は、完全給食です。主食は不要で、スプーン、フォークも園で準備します。
- 3・4・5歳児は、副食は栄養士の献立による調理給食です。主食のみ持たせてください。
毎日の主食となるご飯の量は、ご家庭で食べている量を持たせてください。パン食の場合、菓子パン類は避け下さい。
毎月2回米の日、年に6回（偶数月）パンが主食のメニューがあります。その日は、園で主食を用意させていただきます。

お楽しみ弁当

1歳7か月のお子さんからお楽しみ弁当の日が月2回あります。（4月～6月・10月～3月）
お母さんとふれあいを持つために設けておりますので、楽しくお弁当を食べられるようにお子さんの好きなものを入れ、分量を考えて持って来て下さい。

- デザートはフルーツのみでゼリー・ヨーグルト・プリン等は入れないで下さい。
チトマトやぶどう、枝豆など丸いものは窒息の危険がありますので、4分の1に切ったものを入れて下さい。
※切れていないものが入っていた場合は、食べずに持ち帰ります。
家庭でもよい食習慣に心掛け、偏食のないようにして下さい。
つまようじやピックも危険ですので使用しないで下さい。
毎月、栄養士の方から給食だよりが発行され1ヶ月の献立をお知らせします。



保護者の方にお願い

- 子どもの成長ぶりや出来事、行事などは「園だより」「クラスだより」でお知らせします。未満児クラス・通園バスの方は連絡帳を使用します。大切な連絡事項もありますので必ず読んで下さい。
- 集団生活の中では、友だちとけんかをしたり、ひっつき傷やかみつきがおこったりすることもありますが、成長の段階で避けることができないものです。爪は短く切っておきましょう。
- キーホルダーはトラブルの原因になりますのでかばんに付けてこないようお願いします。
- 水筒や通園バッグ等にシールを張るのはトラブルの原因になりますのでご遠慮下さい。
- 友達への手紙や写真等は、園からはお渡しきれませんので、園には持ってこないようご協力をお願いします。

薬の取り扱いについて

こども園でのくすりは…

お子様の薬は、本来は保護者が与えるべきものですが、当園では持参した薬は、薬の連絡票をいただいた上で代わって投薬しています。その際、子どもの安全を考え、慎重に対応していくために、決まりを作っていますのでご協力下さい。

- 薬は、お子様が診察を受け、その時の症状で医師が処方し、薬局で調剤されたものに限ります。(粉薬、水薬、点眼薬、塗り薬)
- 保護者の個人的な判断で持参した薬は、対応できません。
(例：市販の薬、以前に医師にかかり残っていた薬など…)
- 座薬の使用は原則として行いません。
座薬は体重によって使用量が異なり、処方された後、指示どおり調節しなければなりません。
また、即効性があるので、まれにショックを起こす場合があります。
- 食間薬、点眼や点耳薬で「2～3時間ごと」のように間隔をあけて何度も使用する薬は急性期で感染力が強い場合ですので、できればお家でみていただきたいと思います。
- 薬の連絡票が入っていないかったり、記入が不明瞭だったりする時は飲ませることができません。
- 診察を受ける際、こども園に通園中で、こども園では原則的として薬の使用（取り扱い）ができないことをお伝え下さい。

くすりを持参するときのお願い

- 薬の連絡票は、薬と一緒に担任にお渡し下さい。
薬は緑色のおたよりパックに入れて持つて来て下さい。
また、薬があることを玄関当番の職員にお知らせ下さい。
(玄関当番の職員に預けて下さっても結構です。)
- 持ってくる薬は、その日1回分だけにして下さい。
水薬も別の容器に入れて下さい。
- 薬や水薬の容器には、必ず名前を書いて下さい。
- 2種類以上ある場合は薬の種類の欄にその旨をご記入下さい。

*薬の連絡票は、こども園の玄関に置いてあります。

*園のホームページからもダウンロードできます。

薬の連絡票	
本枠内に必要事項をご記入下さい。 杉の木台子ども園	
保護者名	印
園児名	(級)
主治医	(病院・医院)
薬の処方日	平成 年 月 日 (日分)
※当てはまる所に○印をつけてください。	
薬の種類	病名
・粉薬 ・水薬 ・点眼薬 ・点耳薬 ・塗り薬 ・その他	・風邪(発熱・咳・のど痛・腹痛) ・鼻水・その他 ・アトピー ・ぜんそく ・中耳炎 ・結膜炎 ・その他
保管方法	室温・冷蔵庫・その他()
与薬日時	月 日 曜日 昼食前・昼食後・その他()
薬剤情報提供書	
こども園記載	あり・なし※服薬指導の薬の場合、必ずもってください。
与薬日時	月 日 午前 時 分 午後 時 分
特記事項	
切り取り _____	
保護者の方へ 園児名 _____ さん 日時 _____ 月 日 時 分に服用・点薬・添布しました。 保育教諭名 _____	

感染症の場合の登園について

「体調確認書（発熱・嘔吐・下痢）」のお願い

子ども園は乳幼児が集団で長時間生活を共にする場です。感染症の集団発生や流行をできるだけ防ぐことで、子ども達が一日快適に生活できるようにしていきたいと思います。お子様が感染症にかかった場合は、医師の診断にしたがい、園での集団生活に適応できる健康状態に回復してから登園するようご理解とご協力をお願い致します。

下記の①～⑨の感染症については、必ず病院にて診察を受け、「体調確認証書」を園へ提出して下さい。

①インフルエンザ	②麻疹（はしか）	③水痘（水ぼうそう）	④髄膜炎菌性骨髓炎
⑤風疹	⑥結核	⑦流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	
⑧咽頭結膜炎（プール熱）	⑨百日咳	⑩流行性角結膜炎（はやりめ）	
⑪急性出血性結膜炎	⑫腸管出血性大腸菌感染症（O157など）	⑬感染性胃腸炎（口タ・ノロ）	
⑭手足口病	⑮伝染性紅斑（りんご病）	⑯伝染性軟屬腫（水いぼ）	
⑰伝染性膿瘍症（とひひ）	⑱ヘルパンギーナ	⑲マイコプラズマ肺炎	⑳溶連菌感染症
㉑R S ウィルス感染症	㉒突発性発疹	㉓ウイルス性肝炎	

- 上記以外でも発熱・下痢・嘔吐の症状がある場合には感染症の疑いがあるため、「体調確認書」の提出をお願いいたします。

発熱・下痢・嘔吐の症状がある場合には感染性の疑いがあるため、感染拡大防止のために、発熱・下痢・嘔吐が治まって24時間ご家庭で安静にされ、食欲も戻り元気になってからの登園をお願い致します。

なお、その他の感染症（RSウイルス感染症、ヘルパンギーナ、手足口病、マイコプラズマ肺炎、溶連菌感染症、ほか）については、かかりつけの医師より「登園してよい」旨の指示をうけてからの登園となります。

*体調確認書（発熱・嘔吐・下痢）は
子ども園の玄関においてあります。

*園のホームページからもダウンロードできます。



病気について

大切なお子様をお預かりしている園としては、病気やけがが一番心配です。子どもは異常のある時は朝熱がなくても昼までに38度または38.5度と上がります。そこで熱は異常の知らせであることから、37.5度位で一応保護者の方に連絡をとることになっていますので、保護者の方のお仕事の都合もあると思いますが、お迎えのご協力をお願い致します。

当園ではスキンシップなどの努力を重ねております。「健康な身体に、健全な精神が宿る」ということわざは、今も昔もかわってはいません。この点からみても、おじいちゃん、おばあちゃん等がいらっしゃらないご家庭では園との間に、病気や非常時の面倒をみてもらえる方を1人つくっていただくことが先決かと思います。

前日高熱でお迎えに来ていたいのに、翌朝熱がないからといって登園されたり、朝から熱があるのに、お子様が行きたがるからと連れて来られる方がいらっしゃいますが、子どもは体調を自分でコントロールすることがまだできないので、今日は集団の中に入れてもよいかどうかの判断は、朝の健康チェックをして保護者の方が決めていただきたいと思います。

家庭だからできること

登園までに

子どもは寝ている間に下がった体温が上がって活動の準備が整うまでに、大人よりも20分ほど時間がかかると言われています。子どもが目覚めてから家を出るまでに、1時間あまり余裕をみると、洗顔、食事、排便、着替えがきちんとでき、正しいリズムで1日をスタートすることができます。朝は心も体もすっきりと目覚めて登園することがベストです。また、朝のお子様の健康チェック（体温、顔色、便の様子、鼻水、傷など）を行い、少しでもいつもと違った様子が見られる時には保育教諭に必ず伝えて下さい。



家に帰ってから

こども園からおたよりや連絡帳には必ず目を通しましょう。食事の手伝いなど子どもと一緒にしながら子どもと過ごす時間を少しでも多くとるようにし、食後の一家だんらんも大切にしましょう。身の回りのことは習慣づくように毎日くり返しすることで「ひとりでできる」ように応援してあげましょう。子どもが小さければ小さいほど、共働きは大変です。子育てが楽しいものになるように手を取り合って頑張っていきましょう。

休みの日には

入園すると今までの家庭での過ごし方に日中はこども園での生活リズムが加わります。こども園と家庭との生活リズムを毎日一定に保つことが、お子様が健康で過ごせる第一歩です。ですから、お休みの日も平日とできるだけ同じように起床、食事の時間、午睡、入浴、就寝のリズムで過ごすようにしましょう。そして、少しの時間でも子どもと遊んだりコミュニケーションをとったりすることで子どもは満足します。そうすることで月曜日のスタートがスムーズになります。



抱きしめるということ

人間は愛されることから生きる喜びを感じはじめます。子どものころの抱きしめられた記憶は、ひとの心の奥の方に、大切な場所にずっと残っていきます。そして、その記憶は優しさや思いやりの大切さを与えてくれたり、ひとりぼっちじゃないんだと思わせてくれたり、そこから先は行っちゃいけないよって止めてくれたり、死んじゃいたいくらい切ないときに支えてくれます。子どもをもっと抱きしめてあげて下さい。ちいさな心はいつも手をのばしています。抱きしめるという会話は言葉を越えた愛情表現です。

共育てだからできること

こども園は子どもが保育教諭や友だちと集団の中で心と心を通わせ、育ちあう場所です。こども園では園でしかできない経験をし、喜びや満足感を味わい、一人ひとり成長・発達していきます。しかし、親と子のしっかりとした心のつながりをもとに人とのかかわり、しつけ、していいこと悪いことの分別など、これから生きていく上で大切なことからは、やはり家庭で伝えていただくことが一番です。

今の時代、園だけが…家庭だけが…子育てをするということではなく、園でも家庭でも子どもの健全な心と身体の成長を願って、共に連携を図りながら子育てをしていきたいと思っています。



おわりに

子どもはご家族の方のなにげない毎日の生活の仕方、考え方で育ちます。

「健康で明るくおもしやりある自主的な子ども」をめざして育てましょう。

保育のことについての悩みやご意見・ご要望などがありましたら、ご遠慮なくお申し出下さい。



ありのままの子どもの姿を受け入れて…

乳幼児期は人間として生きる上で基礎の時期であり、この時期をどう子どもとつきあうかが、その後の人格形成に大きな影響を与えるといわれています。

子どもはどこか全面的に受容される時期があればあるほど安心して自立していくのです。人生のできるだけ早い時期に親からこの安心感が与えられれば親を基準にして周りのいろんな人への信頼につながっていくのです。

0歳児（ひよこ組）準備物

☆敷・掛布団

- ・布団は厚いものや大きいもの（ウレタンマットの敷布団等）は避けて下さい。
- ・敷布団、掛布団ともに右上に目印のアプリケをつけ、その下に名前を記入して下さい。
- ・敷布団の裏中央に横書きで名前を大きく記入して下さい。
(半分に折った時に名前が見えるように)
- ・シーツは出来るだけ「ひも」よりも「ファスナー」をお願いします。
- ・おねしょシーツを使用する場合は敷布団のシーツの中にセットしておいて下さい。



☆お便りパック

- ・園で購入して下さい。
- ・通園かばんに入れておいて下さい。



☆通園かばん

- ・開閉しやすい肩からかつぐもの（色・形は自由）
- ・お弁当などが入る大きさのもの
- ・エナメル素材のものはさけて下さい。
- ・キーホルダーは不可



☆園パック（黄色・赤色）

- ・園で購入して下さい
(赤色) 絵本や製作物を持ち帰るのに使用します。
常時園でお預かりします。
- （黄色）汚れ物を持ち帰るのに使用します。
記名したレジ袋を1枚入れておいてください。



☆哺乳瓶

（ミルクを飲むお子さんのみ）

- ・衛生面を考慮しガラス製のものを1本、園用に置いておきます。
- ・キャップと瓶に名前を記入して下さい。



☆食事用エプロン

- ・毎日2枚使用
- ・自分でつけはずしができるようにフェイスタオルを二つ折りにしてゴムを通したものを用意して下さい。
- ・ゴムの長さはお子さんに合わせて下さい。
- ・名前は表面に記入して下さい。
- ・使用後のエプロンを入れるレジ袋を用意して下さい。



☆おしごりケース・おしごり

- ・園で6枚セットのおしごりとおしごりケースを購入して下さい。
- ・食事のあと手や口を洗くために使います。
- ・おしごりはぬらさず、通園カバンに入れて下さい。
(おしごりケースに入れないでください)
- ・毎日決められた色のおしごりを持ってきて下さい。
(月曜…きいろ 火曜…ピンク 水曜…みすいいろ
木曜…むらさき 金曜…きみどり 土曜…しろ)



☆おしり拭き

- ・ケースなしの物を園に置いておきます。
- ・名前を書いてください



☆着替え

- ・2組(下着・洋服)用意して下さい。
- ・誕生日を迎えた上下別の洋服を用意して下さい。
- ・よだれが出るお子さんはスタイを多めに用意して下さい。
- ・ミルクを飲むお子さんはガーゼのハンカチを2~3枚用意して下さい。

☆紙パンツ

- ・1日5枚
- ・必ず紙パンツの後ろに名前を記入して下さい。(朝履いてくる紙パンツにも名前を記入して下さい。)
- ・使用後の紙パンツは園で処分します。



☆オムツマット

- ・オムツ交換時に衛生面を考慮して使用します。
- ・毎日持ち帰りますので洗濯をして下さい。
- ・フェイスタオルを半分に折り、周りを縫つたもの。



☆オムツ袋

- ・縦 35 センチ×横 30 センチ程度のきんちゃく袋
- ・キルティングの布地は避けて下さい。
- ・オムツマットを入れて持ち帰ります。
- ・持ち帰る時に使用するレジ袋を 1 枚用意して下さい。



1歳児（ちゅうりっぷ組）準備物

☆敷・掛布団

- ・布団は厚いものや大きいもの（ウレタンマットの敷布団等）は避けて下さい。
- ・敷布団・掛布団ともに右上に目印のアップリケをつけ、その下に名前を記入して下さい。
- ・敷布団の裏中央に横書きで名前を大きく記入して下さい。
(半分に折った時に名前が見えるように)
- ・シーツは出来るだけ「ひも」よりも「ファスナー」でお願いします。
- ・おねしょシーツを使用する場合は敷布団のシーツの中にセットしておいて下さい。



☆お便りパック

- ・園で購入して下さい。
- ・通園かばんに入れておいて下さい。



☆通園かばん

- ・開閉しやすい肩からかつくぐもの（色・形は自由）
- ・お弁当などが入る大きさのもの
- ・エナメル素材のものはさけて下さい。
- ・キーホルダーは不可



☆園パック（黄色・赤色）

- ・園で購入して下さい。
(赤色) 絵本や製作物を持ち帰るのに使用します。
常時園でお預かりします。
- （黄色）汚れ物を持ち帰るのに使用します。
記名したレジ袋を1枚入れておいてください。



☆カラー帽子

- ・園で購入して下さい。
- ・名前をフルネームで記入して下さい。



☆食事用エプロン

- ・毎日2枚使用
- ・自分でつけはずしかできるようにフェイスタオルを二つ折りにしてゴムを通したものを用意して下さい。
- ・ゴムの長さはお子さんに合わせて下さい。
- ・名前は表面に記入して下さい。
- ・使用後のエプロンを入れるレジ袋を用意して下さい。



☆おしごりケース・おしごり

- ・園で6枚セットのおしごりとおしごりケースを購入して下さい。
- ・食事のあと手や口をふくために使います。
- ・おしごりはぬらさず、通園カバンに入れて下さい。(おしごりケースに入れないのでください)
- ・毎日決められた色のおしごりを持ってきて下さい。(月曜・きいろ 火曜・ピンク 水曜・みすいろ 木曜・むらさき 金曜・きみどり 土曜・しろ)



☆おしり拭き

- ・ケースなしの物を園に置いておきます。
- ・名前を書いてください



☆外ズック

- ・お子様が履きやすいもの。
- ・園に置いておきます。
- ・かかとの部分に○と名前を記入して下さい。
- ・ビニール製のきんちゃく袋に入れて持ってきて下さい。(袋にも名前を記入してください。)
- ・名前を書いて下さい。



☆紙パンツ

- ・1日5枚
- ・必ず紙パンツの後ろに名前を記入して下さい。(朝履いてくる紙パンツにも名前を記入して下さい。)
- ・使用後の紙パンツは園で処分します。



☆オムツマット

- ・オムツ交換時に衛生面を考慮して使用します。
- ・毎日持ち帰りますので洗濯をして下さい。
- ・フェイスタオルを半分に折り、周りを縫つたもの。



☆オムツ袋

- ・縦35センチ×横30センチ程度のきんちゃく袋
- ・キルティングの布地は避けて下さい。
- ・オムツマットを入れて持ち帰ります。
- ・持ち帰る時に使用するレジ袋を1枚用意して下さい。



☆着替え

- ・2組(下着・洋服)用意して下さい。
- ・汚れた服を入れるレジ袋を黄色の園バッケに1枚入れておいて下さい。
- ・よだれが出るお子さんはスタイを多めに用意して下さい。

2歳児（すみれ組）・3・4・5歳児（縦割りクラス）準備物

☆敷・掛布団（2・3歳児のみ）

- ・布団は厚いものや大きいもの（ウレタンマットの敷布団等）は避けて下さい。
- ・敷布団・掛布団ともに右上に目印のアップリケをつけ、その下に名前を記入して下さい。
- ・敷布団の裏中央に横書きで名前を大きく記入して下さい。（半分に折った時に名前が見えるように）
- ・シーツは出来るだけ「ひも」よりも「ファスナー」でお願いします。
- ・おねしょシーツを使用する場合は敷布団のシーツの中にセットしておいて下さい。



☆お便りパック

- ・園で購入して下さい。
- ・通園かばんに入れておいて下さい。



☆園バック（黄色・赤色）

- ・園で購入して下さい。
(赤色) 絵本や製作物を持ち帰るのに使用します。
常時園でお預かりします。
- （黄色）汚れ物を持ち帰るのに使用します。
常時通園カバンに入れておいて下さい。



☆通園かばん

- ・開閉しやすい肩からかつぐもの（色・形は自由）
- ・お弁当などが入る大きさのもの
- ・エナメル素材のものはさけて下さい。
- ・キーホルダーは不可



☆食事用エプロン（2歳児のみ）

- ・毎日2枚使用
- ・自分でつけはずしかできるようにフェイスタオルを二つ折りにしてゴムを通したものを用意して下さい。
- ・ゴムの長さはお子さんに合わせて下さい。
- ・名前は表面に記入して下さい。
- ・使用後のエプロンを入れるレジ袋を用意して下さい。



☆カラー帽子

- ・園で購入して下さい。
- ・名前をフルネームで記入して下さい。



☆おしほりケース・おしほり（2歳児のみ）

- ・園で6枚セットのおしほりとおしほりケースを購入して下さい。
- ・食事のあと手や口をふくために使います。
- ・おしほりはぬらさず、通園カバンに入れて下さい。（おしほりケースに入れないのでください）
- ・毎日決められた色のおしほりを持ってきて下さい。（月曜・きいろ 火曜・ピンク 水曜・みすいろ 木曜・むらさき 金曜・きみどり 土曜・しろ）



☆紙パンツ（必要な方のみ）

- ・1日5枚
- ・必ず紙パンツの後ろに名前を記入して下さい。（朝履いてくる紙パンツにも名前を記入して下さい。）
- ・使用後の紙パンツは園で処分します。



☆おしり拭き (必要な方のみ)

- ・ケースなしの物を園に置いておきます。
- ・名前を書いてください



☆マスクケース

- ・園で購入して下さい。
- ・マスクを毎日2枚以上入れておいて下さい。



☆オムツマット（必要な方のみ）

- ・オムツ交換時に衛生面を考慮して使用します。
- ・毎日持ち帰りますので洗濯をして下さい。
- ・フェイスタオルを半分に折り、周りを縫つたもの。



☆オムツ袋（必要な方のみ）

- ・縦35センチ×横30センチ程度のきんちゃく袋
- ・キルティングの布地は避けて下さい。
- ・オムツマットを入れて持ち帰ります。
- ・持ち帰る時に使用するレジ袋を1枚用意して下さい。



☆水筒

- ・肩から掛けるひもがついていて、コップ式の物を用意して下さい。
- ・散歩に出かけるとき持つて行きます。



☆内ズック・内ズック袋

- ・バレエシューズ型の物を用意して下さい。
- ・白色で模様の無いもの（ワンポイント程度可）
- ・ズック袋を用意して下さい。色、形は自由です。
※2歳児は、使用する時期になりましたら連絡します。



☆着替え

- ・2組(下着・靴下・洋服)用意して下さい。
- ・汚れた服を入れるレジ袋を着替え袋に入れておいて下さい。

☆着替え袋

- ・縦45センチ×横40センチ程度のきんちゃく袋
- ・キルティングの布地は避けて下さい。
- ・袋の中に2組(洋服・パンツ・シャツ)と汚れたものを入れるレジ袋2枚を入れておいて下さい。



☆歯ブラシ・コップ

- ・縦20センチ横20センチ程度のきんちゃく袋
- ・キルティングの布地は避けて下さい。
- ・歯磨き、うがいをします。
- ・歯ブラシは携帯用ではないもの、キャップは不要です。
- ・コップはプラスチック製にして下さい。
- ・コップと歯ブラシが出し入れしやすい大きさの巾着袋にして下さい。
- ・使用する時期になりましたら連絡します。



☆外ズック・外ズック袋

- ・お子様が履きやすいもの。
- ・園に置いておきます。
- ・かかとの部分に④と名前を記入して下さい。
- ・ビニール製のきんちゃく袋に入れて持ってきて下さい。（袋にも名前を記入してください。）
- ・名前を書いて下さい。



3. 4. 5歳児（縦割りクラス）準備物

★主食

- ・弁当箱に白ご飯を入れて下さい。
- ・箸箱と箸を用意して下さい。
- ・3歳児はきんちゃく袋・4, 5歳児は大きめのハンカチに弁当箱のみ包んで持ってきて下さい。
- ・箸箱は直接かばんの中に入れて下さい。

4. 5歳児 準備物

★体操服袋

- ・縦 45 センチ×横 40 センチ程度のきんちゃく袋
- ・キルティングの布地は避けてください。
- ・4・5歳児は月に2回体育教室に参加します。
- ・体操服の上下を園で購入し、袋に入れてもってきて下さい。
- ・脱いだ服を入れます。
- ・使用したら持ち帰りますので洗濯をして持たせてください。



概要

□名称	社会福祉法人 竹伸会 幼保連携型認定こども園 杉の木台こども園
□所在地	福井県福井市中野1丁目2105 TEL 0776-38-3588 FAX 0776-38-3539
□定員	1号認定 15名 2・3号認定 140名
□クラス編成	年齢別【0歳児】ひよこ組、【1歳児】ちゅうりっぷ組、【2歳児】すみれ組 【3歳児】ひまわり組、【4歳児】うめ組、【5歳児】ふじ組 たてわりクラス【3. 4. 5歳児】ぱんだ組、うさぎ組、こあら組
□職員体制	園長・教頭・主幹保育教諭・指導保育教諭・栄養士・調理師・事務員・その他
□開所時間	平日 7:00~19:00／土曜 7:30~12:00
□面積	敷地面積 1719.61m ² 建築面積 618.63m ²
□入園対象児	生後2か月（産休明け）～5歳（就学前）まで
□特別保育業務	1) 延長保育（平日 18:00~19:00） (土曜 12:00~18:00《月2回のみ》) 2) 早朝保育 受け入れ開始時間（平日 7:00~8:00） (土曜 7:30~8:00) 3) 障がい児保育・ふれあい保育 4) 一時預かり保育 5) 子育て支援・育儿講座（ひよこ教室）